

平成23年度事務事業評価表(平成22年度振り返り)

政策名		豊かな出会いでにぎわうまち		施策番号・名		20		文化活動の推進				基本事業番号・名		20-02		郷土芸能の保存と育成					
事務事業番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乘、形態)	事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事務事業全体				一般財源分				全庁評価会議 (24年度に向けた方向性等)			
	事務事業名			指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等		特定財源に伴う一般財源		一般財源				
														事業費 (実績額) (千円)	事業費の概要説明	事業費 (実績額) (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等				
20-02-01	生涯学習課 文化財係	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 (市) 東久留米市文化財保護条例 (市) 東久留米市無形民俗文化財保護費補助金交付要綱	対象 郷土芸能団体 手段・内容 ①郷土芸能団体への補助金交付 ②情報提供等の支援	対象指標 平成22年度 6 (団体) 平成21年度 6 (団体) 平成20年度 6 (団体)	活動指標 平成22年度 200 (千円) 平成21年度 200 (千円) 平成20年度 250 (千円)	成果指標 平成22年度 6 (団体) 平成21年度 6 (団体) 平成20年度 6 (団体)	事務事業全体 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 3 説明欄: 郷土芸能の伝承は、各団体の不断の努力によって維持されており、市の貴重な財産として支援していく必要がある。市の行事等の出演依頼が近年増加し、活動も活発であるため、今後は一層の側面支援の充実が必要である。補助金は市指定無形民俗文化財の5団体に交付されている。	事業費(実績額) 200 人件費(理論値) 358 トータルコスト 558 平成21年度 200 1,000 1,200 平成20年度 250 791 1,041	特定財源に伴う一般財源 平成22年度 200 平成21年度 200 平成20年度 200	一般財源 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 3 効率性 3 説明欄: 郷土芸能の伝承は、各団体の不断の努力によって維持されており、市の貴重な財産として支援していく必要がある。市の行事等の出演依頼が近年増加し、活動も活発であるため、今後は一層の側面支援の充実が必要である。補助金は市指定無形民俗文化財の5団体に交付されている。	全庁評価会議 行財政改革アクションプラン(補助金等の適正化)→事業内容、決算等の検証										
	根拠法令等											財源	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助有 <input checked="" type="checkbox"/> 市全額	所管課長 生涯学習課 山下 一美							
	上乘											<input type="checkbox"/> 市独自上乘せ(上乘・横出)									
	事業形態											<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	意図 郷土芸能団体の活動が継続								